

市議会だより

DAISEN CITY COUNCIL NEWS



大曲小学校 「サケの稚魚の放流」 (丸子川)

内 容

CONTENTS

■第1回定例会の概要	2～4
■一般質問	5～8
■議会のうごきほか	9
■委員会審査のあらまし	10～11
■中学生議会	12～15
■編集後記ほか	16

第1回定例会

令和2年第1回定例会は、2月21日から3月17日までの26日間の会期で行われました。

本会議1日目に、老松市長の施政方針演説が行われ、市当局提出の人事案30件を同意、専決処分報告1件を承認、単行案1件、補正予算案2件を原案可決しました。

本会議5日目に、条例案25件、単行案4件、補正予算案8件、当初予算案19件をそれぞれ原案可決したほか、陳情2件のうち1件を採択、1件を不採択、意見書案1件を原案可決しました。また、追加提案された議会運営委員会提出の条例案1件を原案可決、市当局提出の人事案1件を同意、補正予算案2件を原案可決しました。

一般質問では8人の議員が市政全般について、予算質疑では1人の議員が当初予算について、市当局に質問しました。



本会議第2日 一般質問

NEW! 今号から紙面にQRコードを掲載しています。スマートフォンのアプリで読み取ると、本会議・一般質問の録画中継をYoutubeでご覧頂けます。



定例会1日目



定例会5日目

人事案

▼監査委員の選任について

【全会一致で同意】

武田哲也氏(協和船岡II新任)

▼人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

【全会一致で同意】

和田美砂子氏(大曲地域：新規推薦)
柴田敬史氏(大曲地域：新規推薦)

▼荒川・峰吉川・船岡・淀川財産区管理会財産区管理委員の選任について

【全会一致で同意】

協和地域の各財産区管理会財産区管理委員、それぞれ7人の任期が令和2年5月18日をもって満了することから、その後任について全会一致で同意しました。

条例案

主なもの

▼大仙市下水道条例等の一部を改正する条例の制定について

【全会一致で可決】

下水道等については令和元年度から5年間の経過措置を設け、一部で実施している利用人数に応じた定額の使用料を徴収する定額制を廃止し、排水量に応じて使用料を徴収する従量制に移行します。

令和元年度は、市の水道水を利用してしている下水道等利用世帯について7月から従量制に移行したところで

すが、令和2年度以降においては、市の水道水以外の組合水道や井戸水を利用してしている下水道等利用世帯について、順次従量制に移行することとして改正を行ったものです。

補正予算

▼令和元年度大仙市一般会計補正予算(第11号)

【全会一致で可決】

歳入歳出予算の総額にそれぞれ14億666万円を追加し、補正後の総額は461億1903万6千円となりました。

主なもの

- ・ 地域交通対策事業費(生活路線バス運行維持費補助金) 3186万8千円
- ・ ふるさと応援基金積立金(ふるさと納税制度における寄付金および利子分の積立金) 1億4894万1千円
- ・ 校舎等維持補修および施設整備費(豊川小学校トイレ改修費) 4000万5千円

当初予算

▼令和2年度大仙市一般会計予算

【賛成多数で可決】

令和2年度の一般会計歳入歳出予算の総額は424億620万円で、前年度比2億6050万円、率にして0.6パーセントの減となりました。

第1回定例会の概要

【反対討論】

佐藤文子 議員（日本共産党）

戸籍住民基本台帳費にマイナンバーカード交付事業費負担金が、前年比5倍にもおよぶ4857万6千円と異例の増額予算で計上されている。当市のマイナンバーカード関連予算は、一般会計予算のわずか0.1パーセントであるが、政府予算が消費税増税によって深刻化している暮らしや経済の実態を直視せず、依然として大企業優遇と軍拡を続け、全世界代型社会保障と称する社会保障削減路線に基づくものであり、マイナンバーカード関連予算はその反映であることから、本予算に反対するものである。

【賛成討論】

挽野利恵 議員（公明党）

今回の予算編成では、これまでの各部署一般財源枠配分方式ではなく、個別審査方式をとり、事業の必要性、実行実績に基づく金額の精査、優先度の高いものから予算を積み上げていったとのこと、限られた財源の中から一つ一つ丁寧に予算を組まれたことが随所から感じられる。市長は市政方針演説の結びで、大仙市誕生15周年という記念の本年、「本市の将来を展望した『新たな道』を切り開いていくための契機にしたい」、そしてSDGsの一文を「人口減少の抑制と地方創生の挑戦」と読み替え、「未来を創るのは今この時であ

り、この時代に汗をかき行動をしなければならぬ」との熱い決意を述べられた。この決意を市職員一人一人が指針とされて施策を着実に実行し、市勢発展に向けて大きな成果を挙げることを期待申し上げ、賛成討論とする。

▼令和2年度大仙市後期高齢者医療特別会計予算 【賛成多数で可決】

歳入歳出それぞれ9億5733万8千円で、前年度比7.4パーセントの増となりました。

【反対討論】

佐藤文子 議員（日本共産党）

後期高齢者医療保険料の引き上げ予算となっている。秋田県後期高齢者医療広域連合は料率改定により、保険料を5125円引き上げ4万683円とした。高齢者の生活は、年金支給が実質改定率0.3パーセントの減額のもと、消費税増税などにより大きな負担のしかかっている。これに保険料の引き上げはますます追い打ちをかけることになることから、本予算は認められず反対するものである。

陳情

▼最低賃金の改善と全国一律制にすることを求める陳情

【賛成多数で採択】

【反対討論】

秩父博樹 議員（公明党）

まずもって、最低賃金の引き上げについては大賛成である。しかしながら陳情には「時給1000円以上を今すぐ実現し、1500円を実現」とある。このような急激な変化についていけるのは限られた大企業だけとなってしまい、中小零細企業の経営は立ちゆかなくなり、倒産が相次ぎ、雇用が不安定となってしまふ。国がやるべき政策は最低賃金の全国一律制ではなく、企業への支援、中小零細企業への支援に力を入れることであり、その上でさまざまなバランスに配慮した格差の抑制に努め

意見書

▼最低賃金の改善と全国一律制にすることを求める意見書

【賛成多数で可決】

ることである。陳情にある「時給1000円以上を今すぐ実現し、1500円を実現」という論調は現実的ではないことから、本陳情に反対するものである。

▼種苗の自家増殖原則禁止とする種苗法改定を行わないよう意見書提出を求める陳情 【賛成少数で不採択】

令和2年度一般会計・特別会計・企業会計予算 (単位:千円)

会計名	予算額	前年度比
一般会計	42,406,200	▲ 0.6%
特別会計	国民健康保険事業	8,460,759 6.0%
	後期高齢者医療	957,338 7.4%
	学校給食事業	1,050,226 0.2%
	奨学資金	28,657 0.9%
	企業団地整備事業	19,100 212.9%
	又キ一場事業	42,315 ▲ 31.6%
	太陽光発電事業	113,615 1.16%
	小水力発電事業	2,376 ▲ 34.9%
財産区(6地区)	8,956 ▲ 47.9%	
企業会計	市立大曲病院事業	995,827 0.3%
	上水道事業	1,040,084 ▲ 59.5%
	簡易水道事業	2,411,153 3.2%
	下水道事業	5,388,387 0.3%
計	62,924,993	▲ 1.8%

当初予算質疑

秩父博樹 議員（公明党）



◇一般会計 コンピュータおよびインターネット整備経費(小・中学校費)
 【質疑】国は令和5年度までに、小中学校の全学年で1人1台のコンピュータ端末の整備を目指しているが、本市はどのようにして1人1台を実現する計画か。

【教育指導部長】現在、本市ではパソコン教室のデスクトップ型パソコンやノート型パソコンのリース契約満了に伴う更新の際、タブレット型パソコンとしても使用できるタイプのものに切り替えてきており、これを令和3年度までに完了する方針である。その後、比較的大きな規模の学校では1台当たりの格差が大きいため、これらの学校を中心にさらに整備を進め、教員のICTに関わるスキルアップの状況やコンピュータの活用頻度を踏まえて、できるだけ早期に、まずは3人に1台の整備を目指したい。

【質疑】今後、どのように学校の通信ネットワーク環境を整備していく計画か。

【教育指導部長】3人に1台の整備を想定した場合、大曲小学校と大曲中学校ではパソコン台数が大幅に増加することから、現在の通信速度で

はインターネットの視聴に支障が出る可能性が高いため、両校の校内LANに加え、通信の接続元である大曲庁舎の通信機器の一部を改修する必要があると考えている。

【質疑】教師がICTを効果的に活用できるために、どのように取り組んでいくのか。

【教育指導部長】今後、プログラミング教育を含む教職員の情報活用能力の向上を目的とした体験研修を3地域で実施し、実際の授業でプログラミング教育ができるよう取り組んでいく。さらに、令和3年度にはICT活用モデル校を指定し、授業を公開するなどして、教師のリテラシーをさらに高めていきたい。



起立(挙手)採決(議案第71号)

第1回定例会賛否一覧

議案等名	議決結果	だいせんの会			大地の会				新政会			共産党	市民クラブ	公明党	創生会													
		高橋敏英	佐藤芳雄	古谷武美	橋村誠	児玉裕一	高橋徳久	石塚柏	鎌田正	高橋幸晴	大山利吉	佐藤育男	後藤健	金谷道男	橋本五郎	小松栄治	佐藤清吉	渡邊秀俊	小笠原昌作	佐藤文子	藤田和久	佐藤隆盛	三浦常男	秩父博樹	挽野利恵	本間輝男	富岡喜芳	
議案第71号 令和2年度大仙市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号 令和2年度大仙市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第39号 最低賃金の改善と全国一律制にすることを求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第41号 種苗の自家増殖原則禁止とする種苗法改定を行わないよう意見書提出を求める陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第24号 最低賃金の改善と全国一律制にすることを求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成者は○、反対者は●とします。議長は採決に加わらないため、斜線としています。



佐藤 芳雄 議員
(だいせんの会)



Q 道路補修の管理体制は

A パトロールを増やし、強化していく

質問 道路舗装で舗装工事後2、3年で損傷があった場合、施工業者が補修できないか。

建設部長 舗装道路の場合、路線ごとに交通量が異なるなど舗装の損傷に大きく影響する要因があるため、工事施工における瑕疵と明確に判断することは困難であり、道路管理者である市が補修している。

質問 補修に係る市の管理体制について伺う。

建設部長 道路河川課、各支所の道路担当がパトロールを随時しており、道路に損傷がある場合は直ちに簡易補修を実施し、後日、直営班によるパッチング補修等を実施している。令和2年度からは道路パトロール専従職員を配置し、パトロール車を増やすなど、管理保全体制を強化していく。

◆森林の整備について

質問 森林の整備計画では、将来の望ましい森林へ誘導するために、どのような施策を考えているのか。

農林部長 計画的な経営管理が行われていない所有者に対しては、意向を伺い、市へ森林の経営を預けたいという場合は、一定期間の経営管理権を設定し、意欲のある林業経営体と連携をし、間伐の実施や主伐、再造林等を行う。また、森林関係者の意見を聞きながら、林業振興を進めるための具体的な計画を策定したいと考えている。

◆職員の能力開発について

質問 職員の能力を開発するために、どのようなことを行っているのか。

市長 毎年、職員研修計画を策定し、研修を実施している。職階に応じた基本的な研修以外に、秋田県と市町村が合同で行う能力開発研修への派遣、行政の専門的な知識と技能などを身に付けるために、国の機関を含む外部の研修機関等への派遣も実施している。



渡邊 秀俊 議員
(新政会)



Q 集落自治の活性化策は

A 有機的な連携のもと、実効性のある自治機能に

質問 集落機能向上のため、昭和の合併前の27の協議会を、地域協議会と集落自治会の間に設けては。

市長 現在、自治会長等で構成する「地区コミュニティ会議」や「自治会連合会」といった17の組織が既に存在し、自治会同士の横の連携や意見交換の場として機能しているが、その性格や役割は異なっているのが現状である。しかし、各自治会、各地域協議会、そしてその間に立つ地区コミュニティ会議等が、地域課題を整理、共有、解決するといった自治機能を高めるべきと認識している。そのため、各地域協議会はこれまで、地域枠予算の審議に多くの時間を割いていたが、今後は地域課題の掘り起こしと解決策の検討、協働のまちづくりを実現するための協議に軸足を移すよう、活動の見直しを行っていく。

他自治体の先行事例等も参考に、地域協議会、地区コミュニティ会議等、各自治体の連携のもと、実効性のある自治機能を有するよう取り組んでいく。

◆行政に対するサイバー攻撃について

質問 サイバー攻撃を受けた場合の考えられる被害はどのようなものか。

企画部長 被害は「個人情報・機密情報の漏えい」「データの破壊や損失」「システムやサービスの停止」などが想定されるが、市が保有する業務システムや端末は、専用回線の使用により、基本的にはインターネット回線には接続していないので、サイバー攻撃を受けることはない。

質問 その防護体制はどうなっているか。

企画部長 市からの出入口を一本化したうえ、秋田県セキュリテイクラウドの設置により専門業者による監視を行っており、二段階の対策を行っている。





秩父 博樹 議員
(公明党)



**Q 「SDGs未来都市」選定を
中間目標としては**

A 視野に入れていきたい

質問 職員の名刺および市役所内の課や係の看板に、担当する事業に関するSDGs（持続可能な開発目標）のアイコンを書き込み、まずは足元から意識の醸成を図ってはどうか。

西山副市長 若手職員を対象としたセミナーの開催や、先行して取り組んでいる自治体との情報交換を行うなど、職員の意識醸成や理解促進に努めている。こうした取り組みの一環として導入を検討していく。

質問 内閣府地方創生推進室が取り組んでいる「SDGs未来都市」選定を中間目標とし、市全体の意識の醸成に取り組むことが、持続可能な大仙市づくりにつながっていくものと考えがどうか。

西山副市長 SDGsを普及させていく上で大いに賛同するものであり、本市が持つポテンシャルを最大限に引き出すような取り組みを検討し、将来的な

「SDGs未来都市」への選定を視野に入れていきたいと思っているが、まずはSDGsの理念や必要性について周知し、浸透を図っていききたい。市民の皆さまをはじめ多様な主体と連携を図りながら、各種計画の策定や実施にその視点を取り入れるなど、SDGsの推進に貢献していく。

質問 持続可能な社会の創り手を育成するためにも、学校教育の中で「SDGsの理念」を学ぶ機会を増やしていく必要があると考えるが、現状と今後の方向性について伺う。

教育長 地域活性化に寄与できる子どもの育成を目指した中学校区単位で取り組みを進める「大仙教育メソッド」において、「活かす力」のキーワードとしてESD（持続可能な開発のための教育）を示し、各校において取り組みが行われている。この取り組みを通して、ESDの視点に立ったSDGsを地域と連携して実践することで「総合的な学力」の一層の育成を目指していく。

※この他、子どもを虐待から守る取り組みについて質問しました。



藤田 和久 議員
(日本共産党)



**Q 人口減少対策のために
取り組む事業は**

**A 六つの重点施策に基づき
進めていく**

質問 当初予算案で子育て支援策を充実させたが、学校給食無料化の予定はあるのか。

市長 子育て支援制度等検討会議で検討してきたが、小学校へのエアコン設置やトイレの洋式化、ICT環境整備、学校統合など喫緊の課題が多いため、現段階では難しいと考えている。

質問 人口減少対策について、どのような事業に重点的に取り組んでいこうとしているのか。

市長 第2期大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた六つの重点施策「新時代に向けた農業振興策の強化」「地域企業の振興と企業誘致の強化」「移住・定住の促進と若者がチャレンジできる環境づくり」「結婚・出産の希望をかなえ、子育てしやすい環境づくり」「ともに支え合い誰もが活躍でき

る地域づくり」「地方創生への挑戦」に取り組んでいく。

◆学校における働き方改革について

質問 学校における働き方改革を、どのように進めていこうとしているのか。

教育長 市教育委員会で、国や県の動きを踏まえ「勤務時間管理システムの導入」「夏季休業中の3日間の閉庁日の設定」「運動部・文化部の部活動ガイドラインの設定」等を考えている。

質問 働き方改革は、忙しすぎる現場の問題を解決できるものになっているのか。

教育長 本来的な業務に加え、さまざまな課題やニーズへの対応など内容が複雑化、多様化しており、評価することは難しい状況と捉えている。市教育委員会として改善に取り組むとともに、国に対して人的支援の必要性を要望していく。





佐藤 隆盛 議員
(市民クラブ)



Q 売却可能な資産の売却見通しは

A PRの強化等を検討したい

質問 売却可能な普通財産26件は、長期間売却されていない。今後の売却見通しについて伺う。

総務部長 市ホームページや広報、看板の設置などPRの強化を検討している。また、売却可能資産に当初から計上されている土地が地域性・利便性・価格など、土地購入希望者が抱える多様な条件に合わないことが売却に至らない要因の一つと考えられるので、地域に応じた価格の見直しや隣接者への売却の打診などの対応を強化していきたい。さらに、市の財産活用の新たな対策の一環として、4月から専門部署として「財政活用課」を新設する。

質問 移住定住促進に利用し新規移住者に提供する、大曲の花火にちなんで1区画873円で売却するな

ど、販売の宣伝に活用にはどうか。

市長 物件の利活用については、移住定住対策として移住者の要望を踏まえながら、より求めやすい価格で土地を提供する制度を設けるなど、地域全体の活性化のひとつとして、今後検討してまいりたい。

◆運転ミス事故の現状と対策について

質問 職員の事故防止策にどのように取り組んできたのか。

佐藤副市長 大仙地区安全事業主会主催の「実技体験運転講習会」へ毎回職員を参加させているほか、市独自に「自動車安全運転講習会」を実施し、新規採用職員および交通事故を発生させた職員に受講させている。

質問 事故再発防止対策の取り組みについて伺う。

市長 リスクに関する全庁的な調査や検証などを専門的に行う「(仮称)リスク管理委員会」を設置し、職員の意識改革を一層進めながら、再発防止の取り組みを強化していく。



佐藤 文子 議員
(日本共産党)



Q 国保税の子ども均等割課税を免除しては

A 子育て支援制度での検討事項としている

質問 収入のない子どもにも課税されている国保税の子ども均等割課税は不条理であり、免除に踏み出すよう要望するが見解を伺う。

市長 昨年9月に設置した子育て支援制度等検討会議で協議したが結論に至らず、引き続き検討する事項の一つとなっている。

◆がん検診受診率向上について

質問 大仙市のがん検診受診率は向上していないが、現状をどう分析しているのか。

健康福祉部長 一部の検診を除いて減少し、低い数値となっているが、市の検診を受けずに職場検診や人間ドック等で受診している人数が参入されておらず、受診率に反映されていないことも影響している。

質問 これまでの受診率向上対策の成果と今後の対策を伺う。

健康福祉部長 無料クーポン券や日曜健診等向上対策を行っているが、受診率は伸び悩んでいる。今後は、新たに大腸がん検診で51歳から55歳の検診料金を無料にし、未受診者へのコール・リコール事業に取り組む。

質問 膵臓・胆のう・肝臓がんの死亡率が高くなっている(特に膵臓がん)。これらのがん検診に超音波検査を取り入れる考えはないか。

健康福祉部長 国が推奨する科学的根拠に基づいた対策型検診に含まれていないことから実施していないが、引き続き、国の動向を注視してまいりたい。

◆小・中学生のスキー準備費用の助成について

質問 成長による買い替えや、レンタルスキーの準備費用に助成できないか。

教育長 スキーに限らず、授業で使用する用具は多岐にわたり、経費も掛かることやほかに必要な用具も複数あり、現段階でスキー用具のみに係る助成は困難であると考えている。



挽野 利恵 議員
(公明党)



Q 多胎妊産婦への支援は

A さらなる充実を図っていく

質問 産前・産後の負担が多い多胎妊産婦へ、どのような支援をしているのか。

西山副市長 妊娠の届け出をして母子健康手帳の交付を受ける際に、多胎妊娠や出産後の支援の有無を把握し、個々に応じた支援プランを作成している。また、多胎妊婦には妊娠健康診査を無料で受けられる受診表を6枚追加交付し、安心安全な出産を迎えられるよう支援している。さらに令和2年度からは、産後ケア事業を強化し、支援の充実を図っていく。

質問 厚生労働省が令和2年度から実施する多胎児家庭支援を受けて、市ではどのような取り組みをするのか。

西山副市長 厚生労働省が実施する支援は訪問型の支援が特徴となっており、これを受けて市では、家

事支援のためのヘルパー派遣として養育支援訪問事業を実施する。また、心身の負担増加や孤立化を防ぐため、産後ケア事業を実施する。

◆消費税率引き上げ後の消費活性化対策について

質問 キャッシュレス決済導入状況、大仙市プレミアム付商品券の利用状況はどのようになっているのか。

経済産業部長 経済産業省の「キャッシュレス・消費者還元事業」に登録している市内事業者数398。大仙市プレミアム付商品券の利用状況は、2月末日時点における購入者数は5,528人、金額にして1億3,653万円となっており、住民税非課税者と子育て世帯に対する消費への影響の緩和が図られ、市内の消費喚起と活性化につながっていると考えている。

質問 マイナポイントによる消費活性化への支援は。

経済産業部長 マイナポイントの利用は利用者の利便性向上や地域経済の活性化につながるのので、地域内消費の活性化と10パーセントと低い当市のマイナカードの普及率向上に努めていく。

※その他、消防団員について質問しました。



本間 輝男 議員
(創生会)



Q 「空き屋」助成制度、自治会で申請可能に

A 自治会が利用しやすい制度に検討・制定する

質問 空き屋の実数は。また、空き家対策の助成要件から所得制限をなくし、地域で取り組める制度にしてはどうか。

市長・総務部長 空き屋の件数は大曲390件、神岡95件、西仙北151件、中仙145件、協和161件、南外80件、仙北69件、太田97件、合計で1,188件。自治会等が利用しやすく、所得制限を設けないなど、地域活性化につながる制度のあり方について検討してまいりたい。

◆保育会の統合について

質問 大曲保育会と大空大仙の統合は可能であり、全て同じく地域全体で育てる姿勢は。

市長・健康福祉部長 職員数、処遇等に差異はほぼないが、平成30年度収支で大曲保育会6,040万円、

8億円の積立であるが、大空大仙では職員適正化計画等から人件費増があり8,100万円の不足、積立も1億9,200万円の減少実績にある。幼児教育・保育の無償化時代を迎え、設立年数、経営状況が違う両法人だが、まずは両法人間の広域的人事交流等を検討し、少子高齢化対策を含め安定化を図りながら対応していきたい。

◆大仙市農業の方向性と後継支援について

質問 米に偏重した大仙農業にあって複合型への構造転換、組織化、後継者育成支援は必須の政策であるが、現実的方向性を問う。

市長 日本有数の米産地であるが、複合型生産構造への誘導を図り、強い大仙農業実現を目指し、後継者支援や市単独の水稻、大豆への機械導入も支援したい。

◆「払田柵跡」南門改築の推進について

質問 地域が強く望む南門改築はいつか。

教育長 払田柵は市を代表する重要な文化資源であり、外柵南門再整備は令和3年度からの整備を実施できるように、国や県に強く要請していく。

議会の動き

1月

- 9日 第3回中学生議会
- 17日 広報広聴常任委員会
- 21日 議会タブレット端末導入検討会議研修会
- 23日 教育福祉常任委員会「所管事務調査」

2月

- 6日 議員全員協議会
会派代表者会議
総務民生常任委員会「所管事務調査」
- 14日 議会運営委員会
建設水道常任委員会「所管事務調査」
- 17日 企画産業常任委員会
「協議会・所管事務調査」
- 21日 第1回定例会（第1日）
常任委員会審査（企画産業・教育福祉）
議員全員協議会
会派代表者会議

3月

- 4日 第1回定例会（第2日）
会派代表者会議
広報広聴常任委員会
- 5日 第1回定例会（第3日）
議会改革推進会議
- 6日 第1回定例会（第4日）

- 9日 各常任委員会審査
常任委員会協議会
（企画産業・教育福祉）
- 10日 議員説明会
常任委員会審査
（総務民生・企画産業・教育福祉）
企画産業常任委員会協議会
- 13日 議会運営委員会
- 17日 第1回定例会（第5日）
議員説明会
広報広聴常任委員会
議会改革推進会議



1月21日 議会タブレット端末導入検討会議研修会

6月定例会日程のお知らせ

6月1日(月)

本会議第1日（市政報告、議案等上程）

6月10日(水)

本会議第2日（一般質問）

6月11日(木)

本会議第3日
（一般質問・議案質疑、委員会付託）

6月12日(金)・15日(月) 常任委員会審査

6月19日(金)

本会議第4日
（委員長報告、質疑、討論、表決）

※現時点での予定であり、変更される場合があります。
変更内容は随時、議会ホームページでご案内しています。

議長交際費（1月1日～3月31日）

項目		件数	金額
予算額			900,000円
既支出額		91件	575,706円
今回支出額		18件	119,313円
内 訳	弔慰	2件	20,000円
	慶祝	13件	87,370円
	協賛	3件	11,943円
予算残額			204,981円

企画産業常任委員会

専決処分報告1件、条例案6件、単行案2件、補正予算案4件、当初予算案3件、陳情2件を審査しました。審査では次のような質疑がありました。

●令和2年度大仙市一般会計予算 「移住・定住推進事業費」について

【問】移住コーディネーターと無料職業紹介所の今までの取り組み状況は。

【答】一昨年の11月に無料職業紹介所を開設し、これまでの実績については26件の相談を受けており、移住コーディネーターが、ハローワークに求人が出ていない事業所も回るなどした結果、7名の方に就職していただいている。

「新規就農者研修施設運営費」について

【問】施設の研修生が減ってきている。就農後の指導、支援についても必要ではないか。

【答】研修施設は、県普及課OBを講師として実習指導を行っており、研修生は独自自営を目指して研修に励んでいる。就農時に策定する5年間の計画実現に向け、J A・県・市でフォローアップチームを作り、指導を行うなどの支援を継続していく。

「有害鳥獣駆除対策事業費」について

【問】イノシシの被害が多くなっている。対策を強化すべきではないか。

【答】平成30年に中仙地域で初めてイノシシが捕獲されている。この事業を活用し、イノシシ用のおりを購入することで、有害捕獲の強化を図りたいと考えている。また、注意喚起を促す看板の作成やチラシを配付している。今後は、被害が確認された太田地域などでも広報に力を入れていく。

「観光拠点施設整備事業費」について

【問】大曲駅西口下りエスカレーター整備について、設計業務委託料が2,500万円であるが、過剰ではないか。

【答】JRの近接区域のため、設計から工事までを一括してJRに依頼することになる。現在はJRが算出した概算額を上限額として計上しているが、今後、JRと協定を結び、適正な額で進めてまいりたい。

総務民生常任委員会

条例案8件、補正予算案5件、当初予算案10件を審査しました。審査では次のような質疑がありました。

●大仙市公共施設修繕引当基金条例の一部を改正する条例の制定について

【問】条例改正により、この基金を施設の解体経費にも利用するようだが、どの施設の解体を予定しているのか。

【答】予定している解体は13カ所ある。具体的には消防団格納庫や防火水槽の解体、西仙北青少年自然の家の解体を計画している。

●令和2年度大仙市一般会計予算 「財政課の予算」について

【問】森林環境税は国民全員に課税されるものか。また一般財源としての取り扱いになるのか。

【答】市民税均等割が賦課されている方から、年額1,000円を個人住民税と併せて賦課徴収することになる。一般財源の取り扱いになるが、森林整備に関連する経費に当てられる。

「債権管理課の予算」について

【問】コンビニ収納が開始されたが、収納率は向上しているのか。

【答】今年度から始まったものではっきりと数字は出ていないが、督促状の発送が約1割減っていることから、期限内納付がなされており、効果があるものと思う。

「生活環境課の予算」について

【問】ごみ収集業務について、ごみ出しが困難な高齢者等のごみ収集を戸別に行うなど、ごみ出し支援体制を整えるべきではないか。また、高齢者世帯等へのごみの戸別収集等の支援事業に対し特別交付税措置がされるが、活用を検討してみてもどうか。

【答】戸別収集を行うと、ごみ収集に時間がかかり、収集体制に影響が出るため、実施は困難である。特別交付税については内容を確認していきたい。

建設水道常任委員会

条例案8件、単行案1件、補正予算案2件、当初予算案4件を審査しました。審査では次のような質疑がありました。

●令和2年度大仙市一般会計予算 「除雪対策費」について

【問】今年のような暖冬のときの除雪業者への補償は、どのように考えているのか。

【答】除排雪の委託業務については、固定費・稼働費・待機補償費という項目を設けて補償を行っている。

「橋りょう長寿命化対策事業費」について

【問】令和2年度は173橋を直営で点検するが、それでもまだ点検していない橋はあるのか。

【答】点検は今年度で1巡し、令和2年度からは2巡目に入るので、点検していない橋はない。



今年度、補修工
をする姫神橋(左)
と刈又橋(下)



「公園維持管理費」について

【問】この予算の中には遊具の撤去や、新たに整備する遊具の費用は含まれているのか。

【答】遊具の撤去費用は含まれている。新たな遊具の整備は「公園遊具整備事業費」として、公園維持管理費とは別に計上している。

「地域住宅整備事業費」について

【問】令和3年度から10力年の第2期公営住宅等長寿命化計画を策定するための予算だが、今後10年間で、公営住宅の整備にどのぐらいの経費が掛かると見込んでいるのか。

【答】計画策定に当たり、壊すもの・建て替えるもの・修繕して長寿命化を図るものなどの分析を、これから専門家に委託する。今後の計画策定の中で、はじめて経費がどれぐらい掛かるか分かってくる。

教育福祉常任委員会

条例案3件、単行案2件、補正予算案5件、当初予算案5件を審査しました。審査では次のような質疑がありました。

●補正予算 「小学校空調設備整備事業費」について

【問】今回で小学校は全て整備されることになるのか。また、中学校の整備予定はあるのか。

【答】今回、国の補正予算により、小学校は予算措置して全て整備されることとなる。来年も同様に国で予算化されれば、中学校も実施したいと考えている。

●令和2年度大仙市一般会計予算 「保育士確保推進事業費」について

【問】県内の保育士免許を取得できる学校には足を運んで各種事業の説明を行い、保育士確保の努力をしていると思うが、県外の学校でもこちらで保育士になりたいとの希望を持つ学生も居ると思うので、1人でも多く大仙市で保育士になっていただくためにも県外でも同様の活動が必要と考えるが、その予定はあるか。

【答】昨年^{みその}は、大空大仙と一緒に8月に聖霊短大と聖園短大の方に伺い、奨励金や奨学金返還助成などの事業を説明し、保育士確保の活動を行った。また、岩手県の学校にも同様の活動を行うため、訪問する計画を立てようとしたが調整がつかず未実施となったが、こういった活動を通して保育士確保に努めてまいりたい。

「大仙グローバルジュニア育成事業費」について

【問】グローバル化で小学校時代から英語に親しむのは良いことだと思うが、子どもたちを試みれば日本人で英語の達人な人がいた方が、日本人同士で分かる部分もあると思うので、そういう人を指導者としても良いのではないかと思う。日本人から人材を発掘してその職に充てる考えはないか。

【答】各学校ではボランティアとして、地域の住民の方で英語が堪能な方に協力をお願いしているケースもある。そういった方々を集めて、今後少しでも外国語活動を充実させるようにしたいとの構想があり、現在その情報を各学校から仕入れて、どういった制度にできるか検討しているところである。

第3回大仙市中学生議会を開催

～笑顔あふれる魅力あるまちを目指して～

令和2年1月9日（木）に、第3回大仙市中学生議会が開催されました。未来を担う市内11校22名の代表者が議長や議員となって、まちづくりや教育行政など、生徒に身近なテーマについて質問・提案を行い、最後に「笑顔あふれる魅力あるまちづくり」に関する決議案の採決を行い、可決されました。



※主な質問内容と参加生徒の感想文を紹介します。（ の部分が感想文です。）



議長：平和中学校



副議長：協和中学校

大仙市中学生議会に参加させていただき、とても貴重な経験ができました。私は地域を巻き込むような企画を考えること、地域の行事やボランティア活動に積極的に参加することの大切さを学ぶことができました。さらには議長席に座り、司会を務める機会もいただきました。その瞬間はともうれしく、達成感に満ちあふれました。議長席

【質問】高齢者や小中学生と定期的な話をしたり、郷土料理を伝承したり、スポーツをしたり、身近にできるイベントなどの企画をしてみてもいいでしょうか。

【企画部長】市では、お二人からいただいた今回のような提案が、地域を元気にすることにつながると考えておりますので、中学生サミットで話し合われた内容などをもとに、今後とも、既存の事業の拡大・拡充や新たな企画について、地域の学校と一緒に取組んでいきたいと考えています。



堀田龍さん



鎌田稔人さん

協和中学校

大仙市中学生議会では、三年に一度の開催ということもあり、とても貴重な体験をすることができました。

私たちの住む大仙市について、多くの中学生と市当局の方々と

【質問】「大曲の花火」という地域資源を今後も発展させていくために、大仙市に花火を支える人材育成のための教育機関をつくってみたいかがいいでしょうか。

【経済産業部長】県立大曲技術専門学校への花火講座設置に向け、平成25年から26年にかけて、県との協議を重ねましたが、指導員の不足などから現状では難しいという結論に至りました。しかし、花火師や花火師を目指す方の技術習得の場としては、専門校の活用が最も望ましいと思われ、ますので、引き続き、技術専門校への花火講座設置を要望してまいります。



田口和沙さん



高野優奈さん

大曲中学校

に座ることは誰にでもできることではないので、議長席から見渡した会場の景色は、今でも私の目に焼き付いています。

中学生議会を開催

意見交流できたことは、とてもよい経験でした。この議会を通して、今、市のために若い世代の人たちの意見が必要とされていることを知りました。これからは、私たちが市のためにできることについて積極的に取り組んでいきたいと思えます。

大曲西中学校



小原琉羽さん



伊藤侑さん

【質問】子育てに喜びや安心を感じられるように、子育て交流広場を作ることはできないでしょうか。

【健康福祉部長】子育て世代の親同士の交流の場として、現在、大仙市内には大曲地域に「まるこのひろば」、中仙地域に「うさちゃんひろば」、西仙北地域に「つなっこひろば」の3カ所開設されております。また、市内各地域の認定こども園10カ所でも、乳幼児と保護者を対象に園の開放や子育て相談の機会を設けております。

大仙市中生議会に参加し、大仙市の魅力に気付くだけではなく、たくさんの方々の力で堂々と発表できたことは、

私たちにとって大きな自信となりました。また、相手の気持ちに訴えかけるような伝え方をすることなど、これから学校で生徒会を運営していく中で、大切なこともたくさん学ぶことができました。当日はとても緊張しましたが、他校の中学生の皆さんをお手本とし、自分らしく、丁寧に相手の方に伝えることができたと思えます。

大曲南中学校



小松田梓音さん



進藤美結さん

【質問】多くの小中学生や市民が、一流のスポーツ選手と触れ合えるイベントや講演会を多く開催してはどうでしょうか。

【生涯学習部長】本市では一流のスポーツ選手と触れ合える場として、こころのプロジェクト「夢の教室」スポーツバージョンを毎年、小・中学校で開催しており、今年度で10年目になりました。今後も、オリンピック・パラリンピック等の「みるスポーツ」をきっかけに、さまざまなスポーツ種目の一流選手と直接触れ合えるイベントや講演会を企画い

たします。

今回、大仙市中生議会に参加させていただき、大仙市ではさまざまな取り組みをしていることを知ることができました。私たちが提案したスポーツイベントや講演会の開催、ウォーキングマップの作成もすでに行われていました。「知らなかった」で済ませるのではなく、私たち中学生がもっと市の取り組みに興味をもち、積極的に参加したり、協力したりすることが、市の活性化につながっていくのではないかと思います。

西仙北中学校



佐々木麻央さん



三浦和さん

【質問】2年前の洪水被害における工事を行っています。この工事の完成によって西仙北地域および協和地域の洪水被害が、どの程度軽減されると期待されているのでしょうか。

【建設部長】工事の完成により、平成29年7月程度の豪雨が再び降ったとしても、河川から水があふれ出る、または堤防を越えて流れ出ることを防げるようになり、河川沿いに建つ

多くの家屋の被害が軽減されるものと期待しております。

私たちは、2年前の豪雨による洪水被害に関することを質問しました。その際、私たちの質問に丁寧に答えていただき、とてもうれしかったです。また、各中学校の質問から、大仙市の課題やその解決策を知ることができ、私たちもこれからの大仙市をより良くしていきたいという気持ちが今まで以上に強くなりました。

これまでの活動を通して、このような貴重な経験をする事ができ、本当に良かったです。



洪水被害について質問

中仙中学校



長澤晃汰さん



佐々木くくみさん

【質問】食品ロスの削減のための「食べきり協力店」という取り組みを、小中学生に向けてもっとPRしてはどうでしょうか。

【市民部長】学校や教育委員会と連携を取りながら、食べきり協力店登録制度など、市の取り組みの紹介も盛り込んだ環境学習事業を小学校、中学校においても計画的に実施し、小中学生が食品ロスの削減に取り組みきっかけづくりを行ってまいりたいと思います。

今回、大仙市中学生議会に参加し、貴重な体験をさせていただいたことを大変光栄に思います。議場に入り、議席に座るなど初めてのことが多く、とても新鮮な気持ちでした。インターネット中継があったり、大仙市長さんをはじめとするたくさんの方の前で発言したり、とても貴重な体験となりました。今回の体験を今後の生徒会活動に生かしていくとともに、

市の取り組みに少しでも貢献できるようにがんばります。

豊成中学校



高橋希月さん



佐々木葵さん

【質問】閉校後の豊成中学校空き校舎を利用して、小・中・高生と地域の方が関わり合えるような場所づくりを行うのはいかがでしょうか。

【教育指導部長】豊成中学校の施設の活用方法につきましては、現時点では未定ですが、ご提案の、地域の世代間交流施設も有効な活用策の一つであると思います。私たちも廃校施設を有効活用することにより、地域が元気になれば、喜ばしいことと考えております。

この中学生議会では、私たちの住む大仙市が抱える問題を改めて認識するとともに、自分が住んでいるまちの課題を見付け、それを解決することの難しさを学ぶことができました。今回学んだことを基に、豊成中学校の生徒会の一員として、より良い豊成地域、大仙市を創っていくことができるよう、私たちに

きることを話し合っていきたいと思えます。

大仙市を「地域の魅力や特性を活かし、人が集う活力あふれるまち」に近付けていけるよう、小さな一歩を積み重ねていきたいです。

南外中学校



伊藤碧那さん



今野咲希さん

【質問】特産品やパッケージ等のデザインに、小中学生のアイデアを取り入れてはどうでしょうか。

【経済産業部長】特産品やパッケージに小中学生のアイデアを取り入れることは、大人と異なる若い発想による斬新な商品が生み出されるのではないかと期待されるとともに、市内各地域のさまざまな特産品を内外へPRするために、とても効果的であると思われれます。今後、実現に向け取り組んでまいりたいと考えております。

他の中学生の発表を聞いてみて、やはり中学生であっても自分たちなりの考えをもち、積極的に発信していくことがとても

大切だと思いました。今回の貴重な経験を基に、これからも「ふるさと大仙」のために中学生としてできることを考え、授業や生徒会活動などを通して、地域と積極的に関わっていきることができるような中学生になりたいと思いました。



真剣に意見や提案をする中学生議員

仙北中学校



小林聖侑さん



富樫怜未さん

【質問】素晴らしい文化財を生かすため、郷土料理の提供と楽しめる体験活動をコラボさせることを提案したいと思いますが、大仙市のお考えをお聞かせください。

【生涯学習部長】見る・食べる・体験するといった観光の三大要素はインパクトがありますので、今後の交流人口・関係人口の拡大を目指し、観光的魅力を持たせた企画の実施に向け、努力してまいります。

議会では私たちの意見を質問させていただきます、大変緊張しましたが、生涯学習部長さんと教育長さんから大変分かりやすく、うれしくなるような答弁をお聞きすることができ、私たち仙北中の思いが伝わった感じがしました。私たち生徒会は今回の経験を生かし、諸行事・各活動の見直しと改善策を考えていきます。あいさつ運動や旧池田氏庭園のボランティア活動をはじめとした地域貢献を進め、地域の活性化のため生徒一人一人がさらに努力していきます。

太田中学校



三浦千隆さん



高階冴さん

【質問】耕作放棄地を活用し、より魅力ある滞在型の農業体験ができる「アグリツーリズム」をより一層推進し、県外や海外からの観光客や増やしてはどうでしょうか。

【農林部長】アグリツーリズムを推進するため、空いた土地の活用を含めた、農家民泊などの環境整備の支援やPR等を通じて、訪日外国人旅行者や県外からの観光客取り込み推進により、強化拡充につなげていきたいと考えております。

今までは、太田町の範囲内で物事を考えることが多かったと思いますが、今回は大仙市という広い視点でいろいろなることを考えました。このことはとても難しいと思いました。また、自分たちで資料を使って、大仙市の課題などについて対策を考えたり提案したりすることで、現実の厳しさを知るとともに、自分たちが住むこの大仙市により興味や関心をもつことができた。

平和中学校



近葵衣さん



渡辺奏良さん

【質問】大仙市内には学校の統廃合などにより、使用されていない学校などの施設があります。その施設を備蓄倉庫として活用していくのはいかがでしょうか。

【総務部長】より迅速に避難者へ物資をお届けできるよう、廃校となった学校も含めまして、避難所となっている箇所を中心に、施設の管理状況なども確認した上で、備蓄箇所を増やしていきたいと考えております。

今回は、自らが市へ提案するという貴重な体験をさせていただきました。そして、避難所の備蓄品について質問したところ、早速学校に新たな備蓄品が搬入されることになり、自分たちの思いを伝えることが大切だと思えました。また、この議会を通して、大仙市の未来は私たちがつくっていかねばいけないという意思を改めて強く抱くことができました。

今回の経験を全校生徒に伝え、今後の生徒会活動や地域のために生かしていきたいと思えます。



決議案を採決、全員の起立賛成で可決



決議案を提案

市政懇談会の中止について

6月に、市内10カ所で予定しておりました市政懇談会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。



写真は昨年度のさくまる館での様子

議員定数等検討会議を設置

3月13日、議員定数等検討会議が設置されました。今後、適正な議員定数・議員報酬について検討してまいります。(◎委員長 ○副委員長)

- | | |
|--------|--------|
| ◎渡邊 秀俊 | ○高橋 徳久 |
| 三浦 常男 | 秩父 博樹 |
| 富岡 喜芳 | 佐藤 文子 |
| 佐藤 清吉 | 大山 利吉 |
| 鎌田 正 | 橋村 誠 |

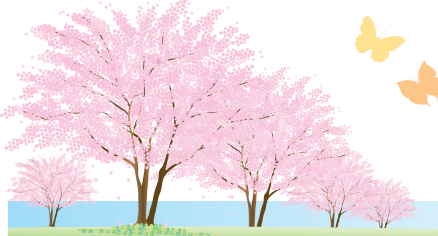
市民の声

市役所に行くときまず目にするのが地区の人口であり、年々減り続けて合併時の75パーセントまで減少している。世帯数の減少はわずかながら、子供たちが成長すると進学や就職のために県外に出て行ってしまいうので世帯人数が減り、ほとんどが2人または1人世帯となっている。人口減少と後継者不足で個人の商店、事業者が次々と廃業してゆき、まちは寂れていく一方である。少子高齢化、地域活性化が叫ばれるようになり、どれほど経つのか。地域を超えた国全体の大きな問題になっているが、遅々として対策が進んでいないように思われる。10年先、20年先には町自体が存続できているのか不安を覚える。

UターンやIターンによる人口減少対策として、移住者支援制度や地域おこし協力隊制度の活性化に期待したい。

また、全国学力テスト上位世代や国際教養大学世代が、TDK・齋藤憲三氏などのように地元で起業し、雇用促進できるような魅力ある施策を設けて実現することに夢を託したい。

(刈野地区 佐々木憲一)



編集後記

「令和」の時代が幕を開けて1年が経ちました。本来であれば、国内は令和誕生一年のお祝いムードや東京オリンピック・パラリンピックに向けて明るい雰囲気になっていったことと思います。しかしながら世界では今、新型コロナウイルスが猛威を振るい、わが国においても日ごとに増加する感染者や犠牲者に関する報道がなされ、目に見えない敵との戦いに先を見通せず、誰もが不安を抱える状況にあります。私たち市民にできることはけつして悲観的にならず、新型コロナウイルスを「正しく恐れ」「手洗いやうがい」「密閉」「密集」「密接」のいわゆる「三密」を避けるなど、基本的な予防策をしっかりと実践することではないでしょうか。

さて、毎年6月に行われていた市政懇談会ですが、新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえ、今年度はやむなく中止となりました。議会としても皆さまの声を聞き取る機会を逸して、じくじたる思いをしておりますが、状況を鑑みご理解を賜りますようお願いいたします。しかしながら議会の役割はあくまでも市政に関する課題を解決し、よりよい未来のための政策提言をすることにあります。ご意見ご要望がございましたら、お近くの、またはお知り合いの議員までお気軽にお寄せください。(委員 後藤 健 記)



- 広報広聴常任委員会
- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 挽野 利恵 |
| 副委員長 | 三浦 常男 |
| 委員 | 佐藤 隆盛 |
| | 石塚 柏 |
| | 藤田 和久 |
| | 小笠原昌作 |
| | 小松 栄治 |
| | 後藤 健 |
| | 佐藤 育男 |
| | 児玉 裕一 |